

令和7年第13回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年12月2日（火曜日）			開会	9:53	会議場所		別海町議会 委員会室1	
				閉会	11:52				
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	3 番	高橋 真結美	出席
	8 番	田村 秀男	出席	9 番	小椋 哲也	出席	10 番	外山 浩司	出席
	11 番	今西 和雄	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席							合計	0名	
事務局職員	局長		入倉 伸顕	主幹		木幡 友哉	合計	2名	
会議に付した事件及び会議結果など									
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。							
委員長	9番	小椋	9:53 開会・挨拶 開催概要説明 会期1日、出席委員8名、委員外0名 議事1 令和7年第4回定例会等の運営について 資料により1から2について一括説明 1 提出予定案件について（12月2日現在） (1) 町長提出予定案件 予算6件、条例16件、同意2件、工事契約1件、指定管理5件、専決処分4件 ・廃棄物関係の条例改正については3月に延期している。 ・何かあるか。 ・廃棄物関係の条例改正延期に関する自由討議。 ・今回の件については、種々問題となる点が重なったと思うが、議会として、委員会運営については足並みを揃えて進め、今後こういった事態起きないようにしていきたい。委員会協議会で協議結果については、正副委員長会議で所管にフィードバックするという流れを両委員会共通認識として進めていきたい。 ・正副委員長会議での情報共有は有効だと思うので、双方の委員会の様子をお互い確認できる場を設けていきたい。 (2) 議員提出案件 ・意見書については、総務産業・福祉文教各常任委員会で協議予定。 2 各議案の常任委員会付託などについて (1) 一括上程 令和7年度各会計補正予算 6件（議案第85号～第90号） 条例制定（給与関係） 5件（議案第93号～第97号） 条例制定（上下水道関係） 2件（議案第105号～第106号） 専決処分の報告 4件（報告第17号～第20号） (2) 委員会付託案件 令和7年度各会計補正予算 6件（議案第85号～第90号） (3) 付託省略案件 議案等 22件（議案第91号、93号～105号、107号～同意第5号） ・付託の取扱いについて補足説明する。これまで慣例的に条例の新規制定については付託審査を行うこととし、それ以外については省略としてきたところだが、会議規則において、審査の付託は省略することができるとされていることから、本年3月定例会から、全議案改めて確認することとした。その上で、今回変更後初の一部改正の付託となることから、						
委員長	9番	小椋							
事務局長		入倉							
委員長	9番	小椋							
委員		一同							
委員長	9番	小椋							
事務局長		入倉							
委員長	9番	小椋							
事務局長		入倉							
委員長	9番	小椋							
事務局長		入倉							

・付託の取扱いについて補足説明する。これまで慣例的に条例の新規制定については付託審査を行うこととし、それ以外については省略としてきたところだが、会議規則において、審査の付託は省略することができるとされていることから、本年3月定例会から、全議案改めて確認することとした。その上で、今回変更後初の一部改正の付託となることから、

令和7年第13回議会運営委員会 要点記録

			改めて流れを確認する。 流れとしては、初日の議案説明で質疑を受けた後、委員会に付託され、委員会で審査、討論・採決を行い、最終日に委員長報告として審査結果を報告することとなる。 審査の観点、規定の明確性・適法性、改正の必要性・理由の明確性、住民・関係者への影響などとなり、調査とは違うことに留意すること。 なお、最終日の委員長報告に対して質疑を行うことができるが、その際の答弁は委員長が行うこととなる。 委員長報告の内容は事務局と調整し、必要に応じて事務局と所管で調整を行う。
委員長	9番	小 椋	・委員長報告の内容に関しては、将来的にこの報告書に興味を持った町民が、どういった内容で審査が行われたのかが見て分かるように、委員会としての意思を記したものとしたい考え。 また、報告書を整理する時間が必要であることから、議案審査がある部署に関しては、3日目の午後に審査を行うこととしたが、今後日程確保ができないことも考えられるので改めて会期の延長を検討したほうが良いと感じた。 最終的に質疑は委員長に行うことになるため、議員間討議時に委員外の意見を聞いて審査の参考とすることも有効だと考えるので必要であればそうしてほしい。
副委員長	11番	今 西	・委員会の意思を表示する場合は今後やっていきたい。
委員	8番	田 村	・付託案件とした場合の対応については、それでいいと思うが、そもそも、現状では付託を省略することができる内容なのか事前に判断することが困難。内容を把握するための資料の準備は難しいと思うが、それがなければ正確に判断できないと思った。
委員長	9番	小 椋	・今後、一部改正も付託されるということが通例になれば、所管も事前の委員会で内容を説明しておくことでスムーズに進められるという考えになるよう合意形成が図れば良い。 また、所管も何が付託されるのか分からなければ説明のしようもないと思うので、付託省略の一定の条件を設けることも必要になってくるのではないかな。
副委員長	11番	今 西	・今後の予定を委員会の中で事前に報告できるような状況が作れば良いと思う。
委員	8番	田 村	・そういった行為は事前審査に当たらないのか。
委員長	9番	小 椋	・過去確認したことがあるが、明確に事前審査を禁止する規定はなく、会議の公開の原則から、本会議前に非公開の場で可否の意思決定の合意を取っておくことはよくないという観点で事前審査禁止とされている。 このことから、事前に報告を受けておくこと自体は事前審査に当たらないと言える。 また、審査ではなく、調査として行う分には問題ないと個人的には考える。
副委員長	11番	今 西	・委員会運営上、その点は意識している。可否を表明するような意見は、本会議や予算決算審査特別委員会の場合など、正式にそれを行う場で述べるように促している。
委員長	9番	小 椋	・調査と審査を明確に使い分けることで対応できると考える。
事務局主幹		木 幡	・条例の一部改正の付託の件、審査結果報告書に委員会の意見を付す件については承知したが、気になる点が2点ある。 1点目は、報告書への意見について、必ずしもポジティブな意見ばかりにはならないということ。どちらかといえばネガティブな意見が出る人が多いのではないかと感じている。そうすると、必ずしも意見を付す必要はないのではと感じる。審査結果は可決だが、委員会のマイナス意見が書かれているといった状況が生じる。 2点目は、先ほども話が出ていたが、所管としては、どの案件が付託されるのかが分からないのは対応が困難なので、本音としては、はっきりとルール化されることを望むと思う、審査件数が多くなれば会期にも影響する。

令和7年第13回議会運営委員会 要点記録

		こういったことから、町の部長級職員と、こういった議会運営全般に関する課題共有会議を開催してはどうかと考える。
委員長	9番 小椋	ここで異議がなければ議題などを整理して話を詰めていきたいと考えるがいかがか。
		・今の話だが、付託審査の線引きについては、事前に確定できない部分がある。
		時期や状況によって内容の重要度が変わってくる。例えば、今回付託審査する青少年問題協議会条例の改正について、数年前なら問題はなく、省略していたかもしれない。
		また、報告書への意見であるが、ネガティブな意見がある場合が多くなるかどうかという点では、内容に問題がないから付託省略というのは基本的になしだと思っており、そうすることでバランスは取られると思うし、所管としても付託審査が前提となれば事務の進め方も変わってくると思う。
		円滑に進められるように事前に情報提供などがされるようになることも考えられる。
委員	1番 市川	・今まで慣例的に行ってきた部分はあるので、議会側も整理し、町側と共通認識を持つことは必要だと考える。
		町側の考えもあると思うので、お互い腹を割って話し合う機会をぜひ設けてもらいたい。
委員長	9番 小椋	・議員の中でも意識共有した上で、進めなければ話がかみ合わない可能性があるので、事務局とタイミングを計りながら進めたい。
事務局長	入倉	・拡大庁議で、付託に関し意見交換を行ったところ、ざっくりとしたものでも構わないのである程度のルールは設けてほしいこと、また、臨時会に条例改正の議案が出しづらくなることを危惧していた。
		付託審査の場合、討論・採決のやり取りが見れなくなるのもあるのではとの意見もあった。
		委員長報告に対する意見については、あえて書かずとも、審査の中で言ってもらえれば伝わるという意見もあった。
		所管としても考える部分があるので、課題共有会議を開催する方向で進めていきたいと思う。
委員長	9番 小椋	・付託した場合の情報公開については確かに困難ではあるが、実際議場ではあまり質疑が行われておらず、委員会のほうが意見が多く出るので、そこを公開していける仕組みづくりをしていったほうが見やすくなると思う。それが最適だと思う。
		また、臨時会における条例改正については、その可能性があった場合には臨時会前でも議会運営委員会を開催する必要があるし、議案が上程された後に議会を一時中断して委員会を開催する必要も出てくる。
		毎回ではないにしても、そうなった場合は臨時会が夕方までかかることも想定しておかなければならない。
		いずれにしても、こういった議題について、町側と課題共有会議を開催する方向でよろしいか。
委員	一同	・異議なし。
委員長	9番 小椋	11:05 休憩
委員長	9番 小椋	11:08 再開
事務局長	入倉	・一般質問に併せて議事日程についても説明したい。
委員長	9番 小椋	3 一般質問の取扱いについて、及び5 会期及び議事日程について
事務局長	入倉	資料により5 についての内容説明
		令和7年9月8日から12日までの5日間
		1日目 議会運営委員会報告、会期決定の件、諸般の報告、行政報

令和7年第13回議会運営委員会 要点記録

			告、提出案件の概要説明
			2日目 一般質問
			3日目 休会（予算決算審査特別委員会、広報・広聴常任委員会、広報・広聴各小委員会、総務産業常任委員会、福祉文教常任委員会）
			4日目 休会（総務産業常任委員会、福祉文教常任委員会）
			5日目 常任委員会審査結果報告、予算決算審査特別委員会審査結果報告、各議案討論・採決、議員提出議案説明・質疑、討論・採決、閉会中の所管事務調査の件
			・横田議員が一般質問を取下げたので、8名から7名になった。よって、2日日程から1日日程に変更した。
			これによって水曜日の午前中が空いたので、予算決算審査特別委員会と広報・広聴常任委員会を前倒して、午後から議案審査のある総務部と教育委員会の常任委員会を実施したいと考えているがよろしいか。
			なお、議案審査がない所管は、予定どおり木曜日に実施することとなる。
委員長	9番	小 椋	・横田議員の取り下げの件については、最終的に本人の判断によるものである。
			内容については、前回から大きく変更になった部分はないので、一般質問についてはよろしいか。
委員		一同	・異議なし。
委員長	9番	小 椋	・次に日程について、説明のあったとおり、変則ではあるが、2常任委員会は2日間日程で行うこととしたいがよろしいか。
			・異議なし。
委員		一同	
委員長	9番	小 椋	4 請願・陳情等の取扱いについて
事務局主幹		木 幡	・総務産業常任委員会協議案件については、1件提出予定として報告をいただいている。福祉文教常任委員会協議案件については、明日協議が行われることから、金曜日の議員間討議までには整理して報告する。
			・何かあるか。
委員長	9番	小 椋	・北方領土問題の解決促進等を求める意見書を提出予定だが、今回は松原議員が元島民であることから、松原議員の発議とし、総務産業常任委員会委員が賛成者となることとした。
副委員長	11番	今 西	・ほかに何かあるか。
			・特になし。
委員長	9番	小 椋	6 諸般の報告について
			・何かあるか。
			・特になし。
委員		一同	
委員長	9番	小 椋	議事2 その他
事務局長		入 倉	1 第7回全員協議会について
			2 第7回議員間討議について
			3 次回議会運営委員会の開催について
			第14回議会運営委員会
			日時 12月12日（金）定例会終了後
			場所 委員会室1
			議事 第4回定例会についてほか

令和7年第13回議会運営委員会 要点記録

		<ul style="list-style-type: none"> ・全員協議会において、前回廃棄物関係の説明があると話したが、なくなった。 ・何かあるか。 ・特になし。
委員長	9番 小椋	
委員	一同	
委員長	9番 小椋	4 その他
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・これから事業計画のヒアリングが行われるが、議場改修に関しヒアリング実施部局から事前質疑がきているので、回答内容について確認願う。
委員	一同	<ul style="list-style-type: none"> ・自由討議。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局回答案のとおりとしてよろしいか。
委員	一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに何かあるか。
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還住民大会への参加について、議長から確認してほしいと言われている。毎年2月7日に行われるが、可能な限り多くの議員に参加してもらいたいとのこと。去年は議員活動の中で参加してもらっていたが、議会活動として正式に参加する場合は議員派遣が必要になる。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった扱いにするか。
委員	8番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・参加希望者に絞った議員派遣にしてはどうか。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車は出せるか。
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日なので我々の休日勤務が発生する。いずれにしても公務になるので費用弁償はされる。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・議員派遣の場合、事務局は随行しなくてもいいのか。
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・議員のみの派遣があったと記憶しているので、必ずしも職員がつく必要はないものと思われる。
委員	8番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の委員会で行くなら議会に諮らなくても委員派遣でいけるのでは。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・総務産業常任委員会としての委員派遣でもいいかもしれない。
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・その場合、福祉文教常任委員は費用弁償なしでの参加となる。
		<p>その住民大会が広報・広聴常任委員会の活動目的に当てはまるのであれば、広報・広聴常任委員会の派遣とすることもできるが、委員の一部を派遣対象とすることが可能なかは今は断言できない。</p>
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・現状としては、開催要項については全議員に情報共有を行い、総務産業の委員派遣としておき、委員派遣がその委員会の特定のメンバーのみでも可能なのかを確認してもらい、可能な場合は広報・広聴常任委員会での派遣も視野に入れておくこととしたい。
事務局主幹	木幡	<ul style="list-style-type: none"> ・確認し、わかり次第ラインワークス等でお伝えする。
委員長	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに何かあるか。
委員	一同	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
委員長	9番 小椋	閉会挨拶
委員長	9番 小椋	11:52 閉会